

## 多摩地域における体験型英語学習施設の事業施設選定委員会 選定結果及び講評

### 1 選定結果

東京都教育委員会は、令和3年2月4日に公表した「多摩地域における体験型英語学習施設整備方針」に基づき、事業施設について、「多摩地域における体験型英語学習施設の事業施設選定委員会」を設置し、選定を行いました。

書面による1次審査及び現地視察による2次審査を行った結果、以下の施設を最優良施設として選定しました。

施設名	GREEN SPRINGS
所在地	立川市緑町3番1
アクセス	JR中央線立川駅より徒歩8分 多摩都市モノレール立川北駅より徒歩4分
該当面積	1385.35 m <sup>2</sup> (E 1棟4階 816.52 m <sup>2</sup> 及びW 2棟3階 568.83 m <sup>2</sup> の合計) ※このほか、以下の共用部分について専用使用が可能 E 1棟4階 テラス部分 213.00 m <sup>2</sup> 及びキッチンパントリー 7.79 m <sup>2</sup> W 2棟3階 テラス部分 164.54 m <sup>2</sup>
所有者	株式会社立飛ホールディングス
管理者	株式会社立飛ストラテジーラボ

### 2 講評

以下に、最優良施設に関する「多摩地域における体験型英語学習施設の事業施設選定委員会」の講評を示します。

#### (1) 優れている点

##### ① 公共交通機関及び貸切バス両方を含めたアクセス

江東区青海のTOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)に続き、多摩地域において体験型英語学習施設を整備するに当たっては、多摩地域の多くの学校が利用しやすい場所にあること、特に、貸切バスに依らずとも、公共交通機関での来場が容易であることは重要です。

その点から、当該施設は、立川駅というターミナル駅から徒歩8分という距離にあることを評価しました。

加えて、小・中学校の利用においては、1箇学年や複数学年単位で利用するケースが多いと想定され、100名を超える児童・生徒を引率して来場することになります。そのため、駅やバスの乗降口からの動線が安全で分かりやすく、一般の通行者との接触事故を防ぐことも重要です。

この点において、当該施設は、電車による来場の場合は、一般の通行者との接触

を避けやすい道幅やルートが確保されていること、集合スペース等も各所に想定されること、貸切バスによる来場の場合は、施設1階の屋内でバスの乗降ができること等、誘導が容易であることを評価しました。

## ② 災害時やバリアフリーへの対応等

発災時に、児童・生徒を安全に避難させることができることは、考慮すべき重要な点です。また、車椅子での来場の容易さ等、バリアフリーへの対応が充実していることも重要です。

この点において、当該施設は、2階部分が広場となっているため、該当フロア（3階及び4階）は低層階に相当し、出入り口や屋外への経路が複数確保されており、他テナントの社員や利用客と混じらずに避難することが容易であること、広場への避難はもちろんのこと、隣接する国営昭和記念公園にも速やかに移動できることなどが評価できます。

エレベーターや多目的トイレ等、バリアフリー対応も充実しており、誰でも利用しやすい、移動しやすい構造になっています。各施設の2階部分のエントランス近くには多数のトイレが設置されており、子供たちが快適に利用できます。

## ③ 多摩地域の施設ならではの多様な利用が可能であること

多摩地域での体験型英語学習施設の具体的なプログラム内容は、今後募集・選定される整備運営事業者のアイデアによるところが大きいです。事業施設そのものに、青海のTGGの特長を踏まえた活動に加え、青海のTGGにない魅力的な活動を実現できる要素や環境が備わっていることも重要です。

この点において、当該施設は、自然や芸術と共存する街づくりと一体となっており、体験型英語学習施設として利用するフロア部分だけでなく、児童・生徒が利用できる屋根付きテラスや屋上空間等のオープンスペース、多摩川に生息する動植物の生態系を再現したビオトープを形成している広場や多様な周辺施設等、様々な付加価値があります。児童・生徒が英語を使う体験をしながら、世界に羽ばたき新しい時代を創っていこうという意欲を向上させるための場所として、多様なプログラムの可能性を期待できます。

## (2) 留意点

当該施設は、体験型英語学習施設に利用する部分が2か所に分かれています。このことについては、現地視察の結果、それぞれの部分は近接しており、経路も複雑ではないこと、経路には、ビオトープ等学びのための素材があることが分かりました。また、2か所でそれぞれ雰囲気が異なるため、多様なプログラムへの可能性も広がります。こうしたことから、活動中に、2か所の施設間を移動する場合があります。児童・生徒や引率教員にとって、過度な負担になるとは言えないと評価しました。

一方で、整備運営事業者は、2か所の長所を生かし、効果的に整備運営することが望まれます。

### (3) 総合的な評価

青海のTGGは、子供たちが学校の教室という日常空間から出て、英語漬けの体験をするための施設として、空間設計を含めて巧みに整備されています。今回選定した「GREEN SPRINGS」は、青海のTGGと同等又はそれ以上の教育的効果をもたらす施設となる可能性が十分にあります。

また、当該事業は、整備運営事業者が、独立採算で行う事業であることから、事業の採算性への配慮も必要となります。当該施設は、集客力が見込まれ、学校利用以外の一般利用についても多様な可能性が期待でき、継続的な事業運営に寄与すると期待できます。

加えて、施設所有者及び施設管理者の協力体制が強固であり、組織内の迅速な意思決定が期待できることに加え、体験型英語学習施設への理解が優れており、施設改修や他テナントとの調整、魅力的なプログラム作りや最適な運用等に当たって、全面的な協力が期待できます。

今後、都教育委員会が公表する募集要項に対し、多くの事業者が創意工夫により、提案し、より良い体験型英語学習施設が実現し、子供たちが未来を切り拓いていくための一助となることを期待します。

#### 多摩地域における体験型英語学習施設の事業施設選定委員会（注）

委員長	吉田 研作	上智大学言語教育研究センター長
委員	前田 博	渥美坂井法律事務所パートナー 弁護士
委員	刀根 武史	東京都中学校英語教育研究会代表 武蔵野市立第五中学校校長
委員	吉村 達之	東京都小学校外国語教育研究会代表 三鷹市高山小学校校長
委員	安部 典子	東京都教育庁総務部長
委員	増田 正弘	東京都教育庁指導部長
委員	瀧沢 佳宏	東京都教育庁指導推進担当部長
委員	松尾 正純	東京都教育庁多摩教育事務所所長

（順不同、敬称略）

（注）本委員会における1次審査及び2次審査は、上記の全委員によって行われました。